

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prognostic factors analysis of 17,600 melanoma patients: validation of the American Joint Committee on Cancer melanoma staging system.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ8-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	11504744	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Clin Oncol.	
	雑誌 ID		
	巻	19	
	号	16	
	ページ	3622-34	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2001 Aug 15	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Balch CM	Johns Hopkins Medical Institutions
その他著者 1		Soong SJ	American Society of Clinical Oncology
その他著者 2		Gershenwald JE	University of Alabama at Birmingham
その他著者 3		Thompson JF	Sydney Melanoma Unit
その他著者 4		Reintgen DS	H. Lee Moffit Cancer Center
その他著者 5		Cascinelli N	Istituto Nazionale Tumori
その他著者 6		Urist M	University of Louisville Medical Center
その他著者 7		McMasters KM	University of Pittsburgh Medical Center
その他著者 8		Ross MI	Beth Israel Deaconess Medical Center
その他著者 9		Kirkwood JM	University of Washington Medical Center
その他著者 10		Atkins MB	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center

一次研究の 8 項目	目的	AJCC ステージングシステムの改訂をおこなう	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	AJCC メラノーマデータベース	
	対象者	13 のデータベースから集めた 17600 症例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	年齢、性別、部位、Tumor Thickness、level of invasion、潰瘍	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	死亡	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	T では tumor thickness と潰瘍が最も強力な生存予測因子で、level of invasion は tumor thickness が 1mm 以下の場合影響がある。 N ではリンパ節転移の数、リンパ節転移は臨床的に明らかかそうでないか、原発部位の潰瘍の有無の 3 つが独立因子であった。 M では内臓転移の有無が重要であった。	
	結論	この結論は新しい AJCC staging に反映される。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ）	